

歩み続けて 50 年 新ステージ「宗谷」からの新たなる飛躍

町勢要覧



(平成 22 年 3 月 14 日 国道 40 号幌富バイパス 開通)

幌 延 町

ごあいさつ

幌延町は、北海道の北部、日本海に面した人口約2,600人のまちです。西側に広大なサロベツ原野の大湿地帯が広がり、町総面積の約63%を覆う森林地帯にさまざまな動植物が生息する自然豊かな環境が魅力です。基幹産業の酪農は、町民の約4倍の数となる約11,000頭の牛が飼育されています。



本町は、昭和35年9月に町制を施行してから今年で50周年を迎え、4月には留萌管内から宗谷管内に移管となりました。

過疎化と少子・高齢化の進行により人口は減少しつづけ、地方自治体の経営は厳しい時代となってきていることから、宗谷管内の市町村との連携・協力を進めるため、『定住自立圏の形成』を推進しております。

基幹産業の酪農をはじめ商工業の振興と、日本原子力研究開発機構の幌延深地層研究センター並びに関連施設・研究機関の誘致により、地域の活性化と新たな雇用の場と産業の創出に取り組んでいます。

今後とも本町の発展と「協働による町民主体のまちづくり」の実現に向け、町民の皆さんとともに、魅力あるまちづくりに全力を傾注していく所存でございますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

本書は、町勢の現状と今後の姿勢をご紹介しますので、本町を知っていただくため、ご利用いただければ幸いです。

平成22年12月

幌延町長 宮本 明



町章

町章は、開基70年記念事業の一つとして、町民から募集して昭和46年4月19日に制定されました。「ホ・ロ・ノ・ベ」の文字を図案化し、本町の基幹産業である酪農の牛、自然と人間との調和、はつらつとした若さ、伸びゆく幌延町の未来を表現したものです。

目 次

町民と行政との協働のまちづくり	
(1)町民参画と協働の推進	1
(2)健全で効率的な行財政運営の推進	1
夢と活力あふれるまちづくり	
(1)農業の振興	2
(2)森林の整備	4
(3)商工業の振興	5
健やかに安心して暮らせるまちづくり	
(1)保健と医療の確保	6
(2)福祉の向上	7
心豊かな人と文化を育むまちづくり	
(1)学校教育の充実	9
(2)生涯学習と芸術・文化の振興	10
(3)スポーツの振興	11
自然に恵まれ安全で快適なまちづくり	
(1)道路と町営住宅の整備	12
(2)環境衛生と下水道等の整備	13
(3)情報通信の整備	14
(4)消防・救急体制の充実	14
深地層研究計画の推進	
(1)幌延深地層研究センター	15
(2)関連施設と研究機関の誘致	16
新エネルギーの導入	16
町の見どころ・遊びどころ	17
トナカイ観光牧場/サロベツ原野/心象館/長応寺 名林公園まつり/おもしろ科学館/トカイ村イフエスタ 幌延のみやげ 役場庁舎	20

町の木：アカエゾマツ



町の花：テシオコザクラ



～ 町民と行政との協働のまちづくり ～

(1)町民参画と協働の推進

本町には、コミュニティ活動の中心となっている町内会が全地域に24団体組織され、住民主体の活動が行われております。町は地域活動を推進するため、町内会活動や集会施設整備への支援を行っています。

町民と行政の協働のまちづくりを進めるため、「町政懇談会」「まちづくりトーク」



「まちづくり提言箱」などにより、町民の声を聴く機会の確保と拡充を進めるとともに、「町広報誌」「町ホームページ」「町内会長会議」などにより町政情報を正しく的確に提供するよう取り組んでいます。

(2)健全で効率的な行財政運営の推進

行政改革を着実に推進するため、事務事業等の妥当性と効率性の評価を行い、町民への説明責任と効率的な行政運営に努めています。

一定の町民サービスを確保しつつ、健全な財政運営を推進するため、町民に分りやすい財政情報誌「わが町の家計」を発行し、毎年、町内全世帯に配付して町予算の公表に取り組んでいます。



財政情報誌「わが町の家計」

人口と世帯数（9月末現在）

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
人口	2,775人	2,747人	2,695人	2,631人
世帯数	1,282世帯	1,275世帯	1,279世帯	1,258世帯

～ 夢と活力あふれるまちづくり ～

(1) 農業の振興

本町の農業は、気象や土壌などの特性から酪農を基幹として積極的に推進し、西天北地域でも有数の酪農地帯になっています。国際競争に対応できる農業経営の確立のため、生産施設や土地基盤の整備、近代的技術の導入による生産性の向上と農作業の分業化などによる経営の効率化を図るとともに、農家の生産コスト低減と労働の軽減等のため町営草地の基盤整備を推進しています。



町営草地の放牧風景

自然と共生した循環型農業

自然環境に配慮した持続可能な農業を推進するため、肥培かんがい排水事業による家畜ふん尿の適正な処理と利用を行い、自然と共生した環境にやさしい循環型農業を推進しています。



ホルスタインショー



肥培かんがい施設



牧草 乾燥ロールの収穫



乳製品工場

雪印乳業(株)幌延工場は、本町をはじめとして、近隣の豊富町、天塩町、中川町、遠別町の5町の天北地域の牛乳を集め、バター、脱脂粉乳を生産しています。



雪印乳業(株) 幌延工場

【工場見学ができます】

工場見学は、電話で工場PR係へご予約ください。

予約時間 9:00~17:00



見学時間は1時間から1時間半程度です。なお、土・日、祝祭日、年末年始はお休みです。

電話 01632-5-1131

乳量と牛の状況

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総出荷乳量(t)	45,675	44,865	44,021	43,216
経産牛頭数	6,016	6,042	5,758	5,694

(2) 森林の整備

幌延町は、町総面積の約 63% を山林が占め、豊富な森林資源を有しています。森林が持つ国土保全、水源かん養、地球温暖化防止など多面的な機能の充実を図るため、町有林の計画的な森林施業を推進するとともに、民有林の森林施業を促進しています。



森林や林業に関する知識の普及や環境意識を高めるため、学校や町内会等と連携して植樹体験や森林環境教育に取り組んでいます。



(3)商工業の振興

近郊都市への消費人口の流出などにより、本町の商業は厳しい経営環境にあります。魅力ある商店街づくりと町内の商工業の振興のため、商工会活動の支援や経営基盤の強化などに努めるとともに、地域資源を活かした特産品の開発と新たな事業展開を支援しています。



幌延市街地・商店街



幌延町商工会



買い物風景



日東エフシー(株)天北工場

地域の資源であるサロベツ原野の泥炭を原料として、日東エフシー(株)天北工場では土壌改良材「テンポロン」を製造しています。

～ 健やかに安心して暮らせるまちづくり ～

(1)保健と医療の確保

高齢化の進行と食生活の向上やライフスタイルの変化に伴う生活習慣病の増加などにより、生涯を通じた健康づくりと医療体制に関心が高まっています。



本町では「自分の健康は、自分で守る」を基本的な考えとして、健康相談や保健指導、各種検診事業などの保健事業と健康づくりを推進しています。



医療機関

地域で安心して医療が受けられるよう町立病院（入院 36 床）と問寒別診療所（月 1 回出張診療）による初期医療体制の確保と中核病院との連携強化を図るとともに、老朽化した町立病院を町の規模にふさわしい有床の診療所にするため建て替え事業を進めています。（平成 23 年 10 月開所予定）

また、問寒別・下沼地区の地域医療を確保するため、患者輸送バスを運行しています。



(2)福祉の向上

高齢者の福祉

高齢者が住みなれた地域で、安心して暮らすことができるよう社会参加と生きがいづくりに取り組んでいます。高齢者の自立支援や介護予防事業を進め



るとともに、介護保険サービスの確保と介護老人福祉施設等の整備を推進しています。

社会福祉法人幌延福祉会は、特別養護老人ホーム「こざくら荘」（定員 30 人）にデイサービス

特別養護老人ホーム
こざくら荘



センター、居宅介護支援事業所を併設して、介護保険サービスの提供を行っています。

障害者の福祉

障害のある人も住みなれた家庭や地域で自立した社会の一員として、生きがいを持って安心して生活できるよう障害の特性に応じた自立支援サービスや



町立北星園内の日中活動

相談支援体制などの整備を図るため、障害者支援施設「町立北星園」を平成 21 年 10 月に新築して進めています。

また、一体型共同生活介護事業所（グループホーム・ケアホーム）

を町内に 6 箇所設置し、障害者の自立支援と社会参加を推進しています。



町立北星園

児童福祉

本町には、幌延地区の中央保育所と問寒別地区の問寒別へき地保育所の 2 保育所があり、また幌延小学校内には放課後児童クラブを設置しています。

子どもが心身ともに健康に育つよう、保育サービスの確保と地域全体での子育て支援の体制づくり等、安心して子育てできる環境整備を進めています。



中央保育所の保育風景



中央保育所



問寒別へき地保育所

保育所の入所状況（4月1日現在）

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
中 央 保 育 所	41 人	44 人	49 人	58 人
問寒別へき地保育所	7 人	9 人	8 人	6 人

～ 心豊かな人と文化を育むまちづくり ～

(1) 学校教育の充実

本町には、幌延地区に幌延小学校と幌延中学校、問寒別地区には問寒別小中学校があり、児童・生徒数は少子化と過疎化等により減少していますが、個性や能力を生かし、自立した人間として生きていくための確かな学力と豊かな人間性、健やかな心と体を、バランスよく育むとともに、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組んでいます。

また、学校施設の耐震補強と計画的な補修を進めるとともに、基礎的情報活用能力の育成と高度情報化に対応した情報教育に取り組んでいます。



幌延小学校 地域参観



幌延小学校



問寒別小中学校



幌延中学校

学校給食

学校給食は、センター方式により町内の各小中学校へ配食しており、給食指導や給食内容の充実に努めるとともに、効率的な運営と安全で良質な給食の提供に取り組んでいます。



学校給食センター

児童・生徒数の状況（5月1日現在）

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
小学校児童数	127人	113人	123人	118人
中学校生徒数	75人	78人	74人	64人

(2)生涯学習と芸術・文化の振興

町民主体による生涯学習活動を基本に、幼児から高齢者までの各時期において、町民の多様なニーズに応えた学習機会や情報提供などに努めるとともに、老朽化した幌延町公民館を「幌延町生涯学習センター」(平成23年4月開館予定)に建て替えるなど、誰もが利用しやすい環境づくりを進めています。



問寒別地区
町民文化祭



問寒別公民館

芸術・文化の振興

町民の主体的な文化活動の促進を図るとともに、地域で優れた芸術・文化に触れる機会の創出のため、コンサートや芸術鑑賞会などの開催と支援に努めています。また、幌延町出身の書家 金田心象先生の作品を展示した『金田心象書道美術館』、町の歴史を伝える『郷土資料館』、幌延・問寒別両地区には図書室を設置し、町民の芸術・文化活動の振興を図っています。



心象館「音楽の夕べコンサート」

(3)スポーツの振興

町民一人ひとりの体力と健康状態に応じた1町民1スポーツを推進するため、総合体育館、総合スポーツ公園、スキー場等を整備してスポーツに親しむ環境づくりを進めるとともに、町民が自ら進んで、いつでも、どこでも、気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションや健康づくりを推進しています。



町民マラソン大会



総合体育館



総合スポーツ公園
パークゴルフ場



問寒別町民プール



東ヶ丘スキー場

～ 自然に恵まれ安全で快適なまちづくり ～

(1)道路と町営住宅の整備

町道の整備

町民のだれもが安全で快適に利用しやすい道路環境づくりのため、子どもや高齢者、障害者に配慮した歩道の段差解消と拡幅などの道路整備を進めています。また、冬道も安全な交通を確保するため、防雪柵の整備と除雪体制の充実に努めています。



バリアフリーの道づくり



道路改良工事

町営住宅の整備

公営住宅の居住環境と利便性の向上を図るため、子育て家庭や高齢者、障害者が安全で安心して生活できる公営住宅の建て替えを進めるとともに、単身者と中所得者層が入居可能な特定公共賃貸住宅を整備しています。



町営住宅 宮園団地

町営住宅の状況(4月1日現在)

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
公 営 住 宅	232 戸	232 戸	220 戸	212 戸
特定公共賃貸住宅	34 戸	34 戸	34 戸	34 戸

(2)環境衛生と下水道等の整備

環境衛生の向上

本町の家庭から出るゴミは、西天北五町衛生施設組合（天塩町、遠別町、中川町、豊富町、幌延町）が処理しており、平成 14 年 12 月からは有料化され、適正な分別・排出によりゴミの減量化と再資源化を進めています。し尿処理についても同組合が収集処理していますが、下水道と個別排水処理施設の整備により処理量は減少していますが、収集処理体制の維持と施設の管理運営に努めています。



汚泥再生処理施設「クリーンセンター」



ゴミ処理施設「リサイクルプラザ」

下水道等の整備

幌延市街地区は公共下水道として平成 12 年度から一部供用を開始し、平成 14 年に整備事業が完了、それ以外の区域は平成 14 年度から個別排水処理施設（合併処理浄化槽）の整備を進め、快適で住みよい生活環境のまちづくりを進めています。



下水道管理センター

下水道等の整備状況（3 月末現在）

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
下水道接続戸数	820 戸	858 戸	864 戸	874 戸
合併処理浄化槽設置数	94 戸	97 戸	100 戸	102 戸

(3)情報通信の整備

テレビの地上デジタル放送への移行に伴う難視聴地域の解消を図るため、幌延民放テレビ中継局のデジタル化に対応した施設整備を平成 21 年度に実施しています。また、町内全域を高度情報化社会に対応できるようにするため、平成 22 年度において超高速・大容量の光回線の整備と、同回線を活用して行政情報や防災・災害情報等を提供する双方向告知端末器を全世帯に設置する「地域情報通信基盤整備事業」に取り組んでいます。



(4)消防・救急体制の充実

本町の消防は、5 町 1 村による広域消防組織として北留萌消防組合を設立し、幌延支署を設置しています。平成 17 年には消防庁舎を新築移転するとともに、消防車両等の計画的な更新整備を進めています。



救急体制では、患者への高度救急業務の実施と救命率の向上を図るため、幌延支署の救急救命士の増員と高規格救急自動車の導入を推進しています。



～ 深地層研究計画の推進 ～

(1) 幌延深地層研究センター

調査・研究のテーマ

幌延深地層研究センターでは、原子力発電の使用済燃料から回収した高レベル放射性廃棄物を安全に処分するための地層処分技術に関する研究のうち、国の計画に示された深地層の科学研究（地層科学）や地層処分研究開発などを行っています。平成12年11月に幌延町は、北海道と原子力機構（当時は核燃料サイクル開発機構）との間で「放射性廃棄物を持ち込まない、使用しない」などを約束した「幌延町における深地層の研究に関する協定」（通称：三者協定）を締結して、深地層研究計画を推進しています。



調査研究の工程

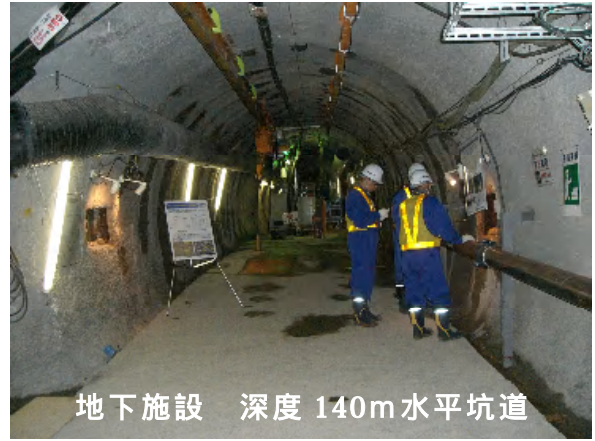
調査研究の期間は20年程度で、「地上からの調査研究段階（第1段階）」、「坑道掘削（地下施設建設）時の調査研究段階（第2段階）」、「地下施設での調査研究段階（第3段階）」の3つの段階に分けて実施することとしています。

平成22年度では、地下施設の建設及び第2段階調査研究を継続し、第3段階の具体的な調査研究計画を策定します。また、完成した一部の坑道を利用して第3段階の調査研究を行います。





PR 施設「ゆめ地創館」



地下施設 深度 140m 水平坑道

(2) 関連施設と研究機関の誘致

幌延深地層研究計画で実施する地下深部を対象とした研究は、地球科学の幅広い分野にわたるものです。研究成果や施設などを有効利用した関連施設や研究機関などの誘致を促進し、新たな雇用の場と産業の創出に努めています。



地層処分実規模試験施設



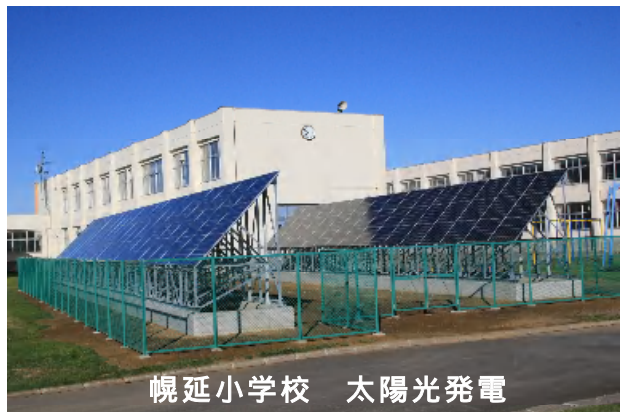
幌延地圏環境研究所

～ 新エネルギーの導入 ～

世界的なエネルギー需要の増大と地球温暖化防止のため、化石燃料に替わる新エネルギーの導入が進められ、本町の浜里地区ではオトンルイ風力発電所（21,000kWh）が平成 15 年から稼動しています。また、平成 22 年には太陽光発電を幌延小学校（19kWh）と問寒別小中学校（10kWh）に設置しています。



オトンルイ風力発電所



幌延小学校 太陽光発電

～ 町の見どころ・遊びどころ ～

日本最大のトナカイ観光牧場

幌延町観光牧場の敷地は約 8.3 h a、ここにはたくさんのトナカイが飼育されています。サンタクロースの故郷と云われるフィンランドからやってきた 10 数頭のトナカイたちから、幌延生まれの 2 世、3 世が観光牧場で育っています。手の平にエサをのせて与えたり、トナカイとのふれあい体験もできます。



トナカイホワイトフェスタ



ブルーポピー



トナカイ観光牧場管理棟

また、6 月から 7 月にかけては「幻の青いケシ」と呼ばれる秘境の花“ブルーポピー”や北方系植物などが牧場の花畑で花を咲かせ、観光客の目を楽しませています。

幌延町トナカイ観光牧場 〒098 - 3224 幌延町字北進 398 番地 1
入場料：無 料 TEL 01632-5-2050
営業時間：9：00～17：00（11～3月は16：00まで）

原生花園の宝庫、サロベツ原野

サロベツ川の流域、東西7km、南北28km、230km²の広大なサロベツ原野は、釧路湿原と並ぶ日本有数の大湿原です。昭和49年に「利尻・礼文・サロベツ国立公園」として指定され、平成17年には「ラムサール条約湿地」に登録されました。サロベツの語源は、アイヌ語で「湿原を流れる川」という意味です。湿原には、パンケ沼やペンケ沼など大小の沼が点在し、100種類にもおよぶ動植物が生息しています。

ビジターセンターでは、サロベツ原野のなりたちや動植物を、パネルやスライドで紹介。名山台からはサロベツ原野と利尻富士を見渡すことができます。



サロベツ原野・長沼周辺



幌延ビジターセンター



名山台展望公園

金田心象書道美術館

日本初の書道美術館として平成2年オープン。書家 金田心象先生の偉大な足跡を辿ることができます。書作品約1,200点のほか、硯、筆、陶器類等約400点を収蔵しています。

開館時間 10:00～16:00

休館日：月曜日、祝日（5/3～5は開館）、年末年始、展示替日

TEL 01632-5-2720



金田心象書道美術館

長応寺

縁起は室町時代という由緒あるお寺。徳川家の側室「お徳の方」の位牌が奉られていることから、毎年5月の第2日曜日に「葵祭」が行われ、宝物の一部が公開されます。



長応寺

名林公園まつり

8月の第2土曜日と翌日の2日間に山村広場を中心に開催され、たくさんの観光客でにぎわう夏のイベントです。歌謡ショーやど真ん中踊り、仮装盆踊り大会など、いろいろな催しを繰り広げます。



おもしろ科学館

9月第1土曜日と翌日の2日間に北海道経済産業局と幌延町の共催で、子どもから大人まで楽しめる科学とエネルギーの祭典。いろいろな実験や工作教室、キャラクターショーなどの催しが、総合体育館とゆめ地創館で開催されます。



トナカイ ホワイト フェスタ

12月の中旬にトナカイ観光牧場で開催。冬の1日をトナカイ観光牧場にてトナカイソリやバナナボートの試乗、ミニ花火大会などで楽しむイベント。子どもたちには、サンタさんからクリスマスプレゼントがもらえます。



幌延のみやげ

トナカイ肉製品
トナカイソーセージ



合鴨製品
合鴨ハム



合鴨鍋セット



北海道バター



ネ～ワサビ



～ 役場庁舎 ～

平成3年10月、役場庁舎は現在地に新築移転しました。町民に親しまれ、北の厳しい風雪に耐え、文化性、機能性、利便性、安全性に配慮し、町のシンボルとして、いつまでも町民皆さんの愛される庁舎として建設しました。



幌延町民憲章

わたくしたちは、悠久の大河天塩川と広大な平野、豊かな森林に恵まれ、北の大自然と共に生きる幌延の町民です。

北緯45度の厳しい風雪に耐えて、郷土の礎を築いた先人たちの労苦に感謝するとともに、その意思を受け継ぎ、この町に生きること誇りと喜びをもって、未来につなぐまちをつくるために、この町民憲章を定めます。

- 1 共に支え合い、未来に夢をもち、
住みよい協働のまちをつくります
- 1 働くことに誇りをもち、地域資源を活かした、
活力あるまちをつくります
- 1 生命(いのち)を尊び、人を愛し、
笑顔あふれるまちをつくります
- 1 心身を鍛え、文化の香り高い、
いきがいと希望に満ちたまちをつくります
- 1 自然の恵みに感謝し、美しい自然環境を守り、
人に優しいまちをつくります

平成22年12月20日 制定

町の統計資料は、町ホームページの「情報ボックス」に掲載していますのでご利用ください。

発行日	平成22年12月
発行	北海道幌延町
企画・編集	総務課企画振興グループ
〒098-3207 北海道天塩郡幌延町宮園町1番地1	
Tel 01632-5-1111 Fax 01632-5-2971	
http://www.town.horonobe.hokkaido.jp/	